

The Second Workshop on Transport Logistics

第2回 GCOE,KU-CMS,NUS 共同研究センター交通ロジスティクスに関するワークショップ会議

- ・ 代表者: 谷口栄一教授(京都大学大学院工学研究科), Ting-Fang FWA 教授(シンガポール国立大学土木工学科)
- ・ 日時: 2008年12月20日(土)
- ・ 場所: 京都大学桂キャンパス人融ホール
- ・ 主催: GCOE,KU-CMS,NUS 交通ロジスティクス共同研究センター
- ・ 主な参加者: 杉浦教授, 宇野准教授, 山田准教授, 大島准教授, 安東助教, 塩見助教, SCHREINERS 研究員, QURESHI 研究員, 安研究員(京都大学大学院工学研究科), SZETO 助教, WONG 研究員(シンガポール国立大学) THOMPSON 講師(メルボルン大学) 他学生を含め計 31 名
- ・ ワークショップの目的概要: シンガポール国立大学海事研究センターとの交通ロジスティクス共同研究センター設立にあたり, 双方の研究者がどのような貢献が可能であるかについて議論する。GCOE の人間安全保障工学に関する研究教育に大いに貢献するため, このようなワークショップを開催し, アジア・メガシティにおける安心・安全・健康のための都市交通・シテロジスティクスに関する研究を推進する。
- ・ プログラム(タイムスケジュール, 講演者の名前, 講演タイトル含む, 別途ファイル可)
別添ファイル 2 参照

・シンポジウムの様子, 得られた成果

1 回目にシンガポールで開かれたワークショップに引き続き両大学から共同研究センターにおいて進める研究課題について, 講演発表が行われ, 約 30 名の聴衆から活発な意見交換がなされた。講演内容は, 災害後のロジスティクス・物流パークの配置問題・Agent Based Simulation・危険物輸送・ビデオイメージを用いた交通安全解析・Weigh-in-motion を用いた大型車計測と多岐に渡り, 現在の最先端の研究紹介がなされた。最後に, 京都大主催によるバンケットが学内のレストランで開かれ, 双方の関係者が交流を深めた。